

## 第（10）回 八代市住民自治推進団体連絡会議 会議録

開催日時	平成23年7月20日（水）10：00～11：30
開催場所	千丁公民館大集会場

### ■ 出席委員

座長	徳田 武治	委員	橋本 和久	委員	本村 孝博
副座長	山中 タミ子	代理	林田 賢吉	〃	米田 常男
委員	上村 國美	委員	谷川 雅博	代理	上田 正武
〃	前田 秀康	〃	大原 友春	委員	小林 征一
〃	井山九州男	〃	加来 經久	〃	澤田 司
〃	楮本 義紀	〃	松本 良弘	〃	橋口 尚正
〃	田浦 朴	〃	村田 健一	〃	古閑 啓子
〃	脇坂 義富	〃	園田 初男	〃	武井 弘治郎
〃	伊藤 武康	〃	後村 新一	〃	萱嶋 義邦
〃	早瀬 洋志	〃	本山 幸人	〃	坂本 一矢
〃	満島 進	代理	宮部 光輝		

### ■ 欠席団体

八代校区福祉推進連絡協議会		
---------------	--	--

### ■ 出席職員

役職	氏名	役職	氏名
市民協働部次長	畑中 一喜	鏡支所総務振興課係長	山本 康博
市民活動支援課長	辻本 士誠	泉支所総務振興課長補佐	橋本 和郎
市民活動支援課審議員	福島 眞一	太田郷出張所長	泉 宜孝
市民活動支援課係長	村上 修一	郡築出張所長	喜多川正人
市民活動支援課主査	井戸 康雄	宮地出張所長	鬼塚 孝一
市民活動支援課参事	野口 義征	日奈久出張所長	田並 功光
東陽支所総務振興課係長	寺本 和也	昭和出張所	永田 栄一
金剛出張所長	本村 秀記	龍峰出張所長	杉山 誠
二見出張所長	大谷 栄樹	八代公民館主事	野口 和孝
麦島公民館主事	堀澤 敬史	太田郷公民館主事	宮尾 信
金剛公民館主事	木下 義啓	植柳公民館主事	山本 高裕
二見公民館主事	豊田 信	松高公民館主事	西村 裕昭
東陽公民館主事	本宮 幸広	八千把公民館主事	稲生 英郎
坂本支所総務振興課係長	松田 薫	高田公民館主事	甲斐 春一
千丁支所総務振興課副主幹	上村 和寛	郡築公民館主事	岩崎 裕希

### ■ その他の出席

役職	氏名	役職	氏名

■傍聴者

なし

■ 協議事項

1. 先行地域指定における設立準備委員会の進捗状況について
2. 先行地域以外における校区住民説明会の開催について
3. その他

## ■ 議事録

(事務局)

皆様おはようございます。ただ今より第10回住民自治推進団体連絡会議を開催させていただきます。

本日はお忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。事務局を努めます、市民活動支援課・課長の辻本と申します。どうぞよろしく願いいたします。

昨年度までは、地域振興課が住民自治を担当していましたが、今年4月の組織再編によりまして、住民自治の一層の推進を図るため、市民活動支援課が新たに設置されたところでございます。

それでは、まず始めに、畑中市民協働部次長がご挨拶を申し上げます。

(市民協働部次長)

【次長挨拶】

・市担当職員紹介

(事務局)

それでは、八代市住民自治推進団体連絡会議設置要領第5条によりまして、座長であります、徳田様にこれからの進行をお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いします。

(座長)

みなさん、おはようございます。大変貴重な時間をこの33団体の会合にご出席頂き感謝申し上げます。あらためて御礼申し上げます。

さて、台風6号の影響で、この会議ができるかなと懸念していたところですが、西日本におきましては、大変大きな被害をもたらしております。少ない被害であればなど、そういうふうになっているところでございます。

今日の会議は、先ほど次長、課長からも説明がありましたように、いよいよ5校区が先行地域として立ち上がったところでございます。それを受けまして、今日の会合ということで、皆さんも既にお手元にご案内のように設立にあたって、5地域それぞれ違うようです。まさしく、地域に合った取り組みがなされている、進んでいると、そういうふうには推察されるわけでございます。このあとじっくり、5地域の会長からお聞きをして、そして、また、後につながる皆さんの参考にもしていきたいと、思っているところでございます。

大変貴重な時間ではございますけれども、十二分に私たち、議論してまいりたいと、そういうふうには思っておりますので、どうかよろしく願いを申し上げまして、挨拶に代えさせていただきます。

議事に入ります前に、実は3名の委員の方の交代があつておられます。それで一人お一人から簡単に自己紹介をお願いしたいと考えております。

まず、東陽校区長でございます。どうぞ自己紹介をお願いいたします。

(委員)

皆さんあらためまして、おはようございます。今年から東陽校区長を務めさせて頂いております。住民自治による地域づくりがあつて、一応モデル地域の指定を受

けて、非常に戸惑いながら会議を進めているところです。よろしくお願いします。

(座長)

ありがとうございました。次に、八代市PTA連絡協議会長でございます。お願いいたします。

(委員)

皆様あらためまして、おはようございます。今年度よりPTA連絡協議会の会長を務めさせていただくことになりました。

日頃より子どもたちが、そしてまた、私たち保護者から地域の皆様方に、ひとかたならぬお支えを頂いて子どもたちが健全に育っていると、いうふうに日頃より強く感謝の念を持っているところでございます。今後とも、どうぞ子どもたちが、そして子ども保護者が健全にそして健やかに育てられるように、地域の皆様方と力を携えながらがんばっていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(座長)

ありがとうございました。最後になりますが、八代市文化協会会長でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

(委員)

おはようございます。4月から文化協会会長を務めます。私どもは、70の団体で1,800人の団体でございます。どうかよろしくお願いいたします。

(座長)

ありがとうございました。今後ともどうぞよろしく、皆様ありがとうございます。それでは早速、議事に入ってまいりたいと思います。

議題の1項目でございます、「先行地域における設立準備委員会の進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

それでは、私の方から説明をさせていただきます。

議題1の先行地域における設立準備委員会の進捗状況について、ということでございます。

資料—1をご覧くださいいただきたいと思います。

さきほど座長の方からもお話がありましたように、それぞれの地域で、来年4月に新しい組織の設置に向けた取り組みがなされております。

麦島校区と二見校区以外は、設立準備委員会が設置されておりますが、麦島校区については、明後日の22日、第1回目の設立準備委員会が開催されます。また、二見校区については、本日の夜に第1回目の設立準備委員会が開催される予定となっております。

この資料をご覧ください分かりますように、早いところで、2回の協議が終わっていきまして、具体的な中身の協議が始まろうとしています。

後ほど、先行地域の委員長さん方からそれぞれの取り組みについてご報告があらうかと思いますが、それぞれの地域で、会議の進め方や委員の募集の仕方というものは全く違っております。

事前勉強会を行って会議に臨む地域、何度も何度も打ち合わせを行いながら設置する地域、委員を公募して設置するなど、地域の独自の取り組みがなされているところがございます。

続きまして、資料—2をご覧くださいと思います。

先行地域における市の支援体制のスキーム図ということになっております。

始めに、ここには記載していないんですけども、課の総括が辻本課長となっておりますが、もちろんその上に部長がいるんですけども、市民協働部には次長が2人います。本日、挨拶を行いました畑中次長が、昨年まで企画振興部から引き続いて、担当次長として、その任務にあたっていただくということになっております。

また、住民自治推進に関して課長の補佐的な役割として、福島審議員があたるということになっております。それに喫緊の課題でもある「自治会未加入問題について」も任務にあたり、一人でも多くの住民の皆さんに地域のまちづくりに関心をもつていただくような施策を、市民活動支援課で行っていくということになっております。

次が、先行地域の各担当ということでございますが、本庁における担当として、私が東陽校区を担当いたしております。それに支所の寺本係長と東陽公民館の松本主事と本宮主事と連携しながら現在、推進しているところでございます。

代陽校区は、井戸主査と牛田主事が担当ということですが。

金剛校区は、同じく井戸主査と本村出張所長と木下主事と連携して推進しております。

麦島校区は、野口参事と堀澤主事が担当ということ。

二見校区は、同じく野口参事と大谷出張所長、豊田主事が一体となって推進していくということです。

また、行政内部におきましても、情報の共有を図るなど、連絡調整を常に行う必要があるため、月に1回の定例担当者会議を開催しているところでございます。

次に資料—3をご覧くださいと思います。

こちらが平成23年度における想定スケジュールとなっております。当初の予定では、設立準備委員会の設置前に、町内単位での住民説明会を実施するというところで、一度ご説明をした経緯があるかと思いますが。

事前打ち合わせや事前勉強会を行っていく中で、「先行して取り組むということが決まっているため、協議する時間を優先するべきである」といった意見も多く、先行5地域での町内説明会は行っていないのが現状でございます。

協議項目は後ほどご説明したいと思いますが、基本的に必要な協議として、最低でも半年は必要であると認識をいたしております。

予定としては、年内の12月末までに必要な協議を終え、来年より、設立総会の準備に入るところで、各地域で推進しているところでございます。

ただ、スケジュールのとおりにはいかないわけですので、場合によっては1月、

2月にずれ込むことが十分考えられるということでございます。

基本的に月1回の会議を開催するところで各地域それぞれ確認がなされているんですけども、場合によっては月2回の開催もあり得るということで確認をしているところでございます。

また、協議を進めていく中で、協議結果を毎月、総社教へ報告したり、あるいは、地域審議会へ中間報告を行う。あるいは、地域住民の皆さんへ中間報告として、住民説明会を実施したらどうか、ということも話としては出ているところでございます。

次に資料—4でございます。

これはあくまで目安ということで、このとおりに協議を進めることは難しいんですけども、協議項目として、このくらいあって、だいたい、このような時期に協議を行っていくんだというふうにとってもらえればと思っております。

ここでは、月2回の協議を想定してスケジュールを組んでいるんですけども、月に1回の会議となると3項目の協議をこなしていけないとスケジュール的に厳しくなるということでございます。

以上で私のほうから、進捗状況について説明を終わります。

(座長)

はい、ありがとうございました。ただ今事務局から、先行地域における設立準備委員会の進捗状況について説明がございました。

ここで、皆さんからのご質問を受ける前に、まず、先行モデル地域の校区長から補足や説明、感想などお一人ずつご意見を頂戴したいと思います。その後、事務局の説明と併せて質問、ご意見を頂きます。それでは、まず始めに代陽校区長からお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(委員)

代陽校区では先行地域の1校区として、実際今やっておりますけれども、これが順調に行っているとかではなく、概略を申したいと思います。

現在、2回ほど実行委員会を開きました。第3回を7月にしようとしていたが、いろいろありまして、8月の5日に第3回を行うことになりました。1年間のスケジュールでございますけれども、私の目途としては、12月に、遅くとも1月には最終的なまとめをして、そして、1、2月か3月まで調整して、来年度のスタートを出来るんじゃないかと考えております。

理想的なプログラムを組んでいるわけですが、実際やっておりますと、ちょっと簡単にはいかないと考えております。まず、第1番目に実行委員会をどうするかということでございます。一つには、各種団体がありまして、各種団体は、体育協会等々各種団体の会長、あるいは、小中学校の校長先生、幼稚園長を含みまして、消防団等々を含めて21名ということでございます。

これらについては、立ち上げの段階で総社教の皆さん方にこういう形で委員を構成しますよと、了解を得ています。このことが住民自治で一番の根幹になっていく

んだらうと、受け止めているわけです。

総社教、市政協力員が常に連携をし、中間報告、意見交換が一番大事だと。今、2回ほどやりましたけれど、そのような形で進めているところでございます。

設立準備委員会の会長を誰にするんだということから始めました。そして、「私に  
しなさい」ということですので、私と、副会長、これは体育協会の会長さんにお願  
いしました。それに、書記についてですが、市政協力員の副会長でございますけれ  
ども、その方の3名で組織の総括をお願いし、それから、市政協力員の25町内が  
ございますので、4区に分けておりますので、計7名を推薦して、総社教並びに市  
政協力員、計21名で実行委員会を設立しているということでございます。

それから、1回目には先行地域に指定されるまでの経緯を、再度認識を図って  
いただくということでお話をいたしました。

それから、後半はですね、市の方で代陽校区のイメージということで、1時間、  
いや2時間ぐらいのお話し合いをいたしましたですけれども、その中でイメージと  
いう、これは代陽校区の弱みとか、機会とか、脅威とか、などなどについて、もう  
少し代陽校区のイメージをゆっくり、静かに眺めて、代陽校区の様子を見てはどう  
かという、新たな発想をもったらどうかということをやりましたところ、代陽校区  
の良さとか弱点とかが見えたことは大変良いことですし、これが基本となって次の  
代陽校区の住民自治まちづくりに出発するということはありませんけれど、その感  
覚を実行委員会の皆さんが十分分かっていただけたら、次の住民自治のまちづくり  
も出来るんじゃないかと思いました。

2回目はですね、宗像市の先進地域のビデオを紹介して意見交換を行いました。

これで時間が終わりました。意見交換が出るということは、意識が高まったとい  
うことで、意見交換が出来たと思っております。これから、少しスピードをあげて  
いきたいと思っております。

(座 長)

ありがとうございました。続いては、麦島校区長をお願いします。

(委 員)

麦島校区をご説明します。まず、麦島校区総社教におきまして、会長、副会長、  
書記を選定いたしました。7月の15日に住民自治の概要の説明ということで、市  
のほうから何名か来ていただきました。そして、月に1回以上住民自治の会議を開  
こうと、そうして麦島らしいことは何なのかということ、今後、探し出して、構  
成メンバーについても今後の会議の中で検討していくと。この会議を核としていく  
と。

麦島は12町内あるんですけれども、町内の皆さん方に住民自治とは何ぞや、と  
いうものを説明しながらじっくりと進めていきたいというのが現状です。以上です。

(座 長)

ありがとうございました。続きまして、二見校区長をお願いします。

(委員)

私のところはですね、まだ何も決まっておられません。例えば、会長だとか副会長だとか書記だとか、全然分かりません。今夜でないとは分かりません。

ただ、うちの場合は一昨年からですね、ハード面については皆さんの校区より進んでいる気がしております。というのは、国とか県の補助事業を取りまして、地域の皆さんによる商売をする「しょい」というのを取りまして、当初立ち上げるとき、私の名前で補助事業とか申請をしまして立ち上げましたが、今は独立して私は手を引いております。その他、例えば耕作放棄地の問題につきまして、山羊を貸していただいて、耕作放棄地の対策事業をいたしております。

また、梅の木を埋めましてその管理を活性化協議会がやっております。そしてまた、農林水産省の「田舎で働き隊！」ということで、大分から一人女性が来て一緒にいろんな事業をして働いていただいております。ここいらは、ハード面で住民自治から独立したという気持ちでおります。

そしてまた、NPO の設立の準備に入っております。これはそう簡単にはできません。1年ぐらいかかりますけれども、NPO の立ち上げを考えています。

そして、ソフト面の地域協議会の設立については、今晚8時から30数名の委員を集めて話し合いをする予定でございます。会長は誰になるかまだ分かりません。以上です。

(座長)

ありがとうございました。次に東陽校区長お願いいたします。

(委員)

先行モデル地域5校区のうち、旧郡部からの唯一の指定でございます。それで他の指定校区と違いまして、校区内の各種団体を統括した総社教、またはそれに類する組織がありませんので、設立準備委員会も違った形になったものと思っております。

まず、6月7日に先行モデル地域として、校区長として4月から変わりましたが、昨年までの校区長が非常に熱心で、この指定に向けて努力されました。その前年度の校区長と地域審議会が、全員一致でこの先行モデル地域の指定に賛成して進めてまいりましたので、地域審議会から2名、私、それと役場出身職員の2名によりまして、設立準備委員会の構成について検討、選考を行いました。それから委員としての承諾を取りまして、6月30日に第1回の設立準備委員会を開催いたしました。

会議の始めに、会議を進行するために会長、副会長、書記の選任を行いました。

会長は校区長である私が引き受けております。

第1回の会議では、まず、住民自治及び設立準備委員会に対する選任された委員の理解に非常に温度差があるということで、あらためて、住民自治推進系の職員の方に住民自治によるまちづくり事業について、及び、設立準備委員会の役割、立場、仕事内容などと、予算と今後のスケジュールについて説明をしていただきました。

第2点として、メンバー構成が妥当であるか。一部の人で選考したメンバーであ



るので、あらためて選定した委員全員で考えてもらいました。その中で、若い人が少ない、公募をかけて広く募集をしたら、などの意見が出てまいりました。

それで私どものところは、幸いケーブルテレビがありますので、すぐにケーブルテレビを使って意見を組み入れまして、公募をかけました。公募をかけましたところ、3名の方が応募をされました。全くのボランティア活動であることから、非常に心強く思っております。

これで第1回の会議をまとめまして終了しております。

公募により3名の方が応募されましたので、委員としてがんばっていただきますが、第1回の会議に出ておられませんでしたので、明日、3名の方と私と副会長、職員の方を交えて公募委員の勉強会を開いて、みんなと一緒に活動しやすいように勉強会を予定しております。

第2回から公募委員を含めて会議を進めてまいりますが、これまで感じたことですが、第一として、構成する私たちも含めた各種団体役員、それから役場職員OB、それから市役所に勤務する住民としての市役所職員、それと公募による委員、計22名で、いろいろな立場、人材から構成することができたことは、良かったんじゃないかと思っております。

第二として、原則月1回から2回の昼間の会議です。東陽の場合、総社教のような組織もないので、設立準備委員会、特に初年度においては会議のお茶代もありません。2時間から3時間の会議ですが、冷たいお茶もどっからも予算がありません。自分たちで使える予算がゼロという厳しい組織ですが、委員の方たちの「自分たちのまちは自分たちの手でどぎゃんかしていかなばん」、という熱意を結集して東陽町ならではの組織、規則などの制定に向けて努力してまいりたいと思っております。以上で説明を終わります。

(座 長)

ありがとうございました。最後になりますけれど、金剛校区も手を上げておりますので、簡単に進捗状況を説明したいと思います。

資料—1をご覧になりながら説明を申し上げます。

設立準備委員、これは日頃から総社教が中心となって委員になると。そういう暗黙の了解のうちに申し合わせておりましたので、設立準備委員には総社協の理事全員を充てると。理事全員の中には、町内長12人、民生委員4人、福祉協議会の会長、体育協会会長、交通安全委員会の会長、JA女性部から一人、これが総社協の理事の構成で、計20名で委員になっていただき、6月16日の第1回目の設立準備委員会を開催いたしたところでございます。

そこで、会長、副会長、書記には、会長は校区長であるし、総社協の会長でもある私がやらせていただきました。副会長には、福祉協議会の会長、書記には民生員協議会の会長。これが校区を動かせる三本柱かなと、そういうふうに思っております。

から、そういう認識を持って選んでいただいたところでございます。

そして、第1回目に私たち何も思うことなく地域に、校区に住んでいるけど、どのようなものがあるのかなど、事務局の方から提案がございまして、お互いに出し合ったところ、強みがあったり、弱みがあったり、悩みがあったりするもんですね。一人一人が思いつかないことが、みんなで一つ一つ出し合えば結構出るもんです。その結果、強みが純農村地帯であり、協力的であると。その反面、弱みにはどういうものがあるかということ、農業の後継者不足、それから機会、どういうチャンスがあるかということ、九州新幹線前線開業があるじゃないかと。そして、脅威には農業後継者の減少、農業所得の減少、そういうのが結構あがってきたところであります。

それを受けまして、今度は第2回、7月12日に会議をさせていただいたわけでございます。この辺になると、思いがあるなら規約をそろそろ作らんといかんと。事務局からのお知恵を拝借しながら、概念、そして組織の構成まで次は行こうと。いうことで、組織の構成には予算の配分まで関係してくるんじゃないかと、そういうふうにも思っておるところでございます。どういう構成が私たちには一番相応しいのか。例えば、各種団体をずらっと並べていくのか。あるいは、部会方式がいいのか。一まとめにしてですね、少なくして。

そうすると思わぬ懸念が生まれてくるのが、昨日の自主防災会議であったと思うんですよ。今後、自主防災は非常にクローズアップされて、頼りになる団体であるという位置づけをされて、認知度も高くなります。そうすると、現在は自主防災会議には、市のほうにもびた一文予算はございません。それが各校区に入ってくると、予算を付けざるを得なくなるんだらうなあと、そういう解釈は持っているところです。その辺を大変悩んで、各種団体方式にするのか、部会方式にするのか、悩むところでございます。

そして、8月8日、第3回目の会議をするときにこの辺を決定しようと。第3回目で名称まで決定しようと。この名称につきまして話を出しましたところ、校区で公募すればどうかという意見も出ました。そこでみなさんに、公募をすればいいんでしょうけれど、私は会長ということで、さて、公募はどうかということで私が言ったのは、この場合の名称は対外的にアピールするような印象深いものではないと。堅実で、無難な住民に分かり易い名称が良かろうと。せつかく設立準備委員会というものを立ち上げておりますので、20人のみんなで英知を結集して、「金剛校区住民自治連絡協議会」とか、多分その辺でおさまるんじゃないかならうかと思っておるんですが、公募までして名称を決定することでもなかろうかなと、そういうふうにも思ってお話をしたら、それでよかばい、ということで、名称は皆さんに8月8日まで持ち寄っていただく。そして名称を決定したいと。そういうふうにも思っております。

率直に申し上げましたが、金剛校区の設立準備委員会の進捗状況でございます。

以上でございます。

(座 長)

そこで皆さんに、ご意見、ご質問がありましたら、どうぞお願いします。

最初から申し上げておりますように、先行モデル地域が5校区においてスタートしたその後は、皆さんにいろんな開示をするということにしておりますので、いろいろ思っているところは、先行モデル地域の5地域から申し上げたいと思っております。今後、壁にあたるのは予算の配分だと予測はしております。

(委 員)

今までの組織的なお話の中で、5校区とも婦人会の名前があがっていないように受け止めたんですけれども、どうなっているんでしょうか。恥ずかしながら、私の町内だけ婦人会がないんです。他の町内は婦人会活動を活発にやっているんですよ。総社教の中でも、各行事いろんなところでがんばっておられます。他の校区の状況をお聞きしたいんですけれども。

(委 員)

麦島校区、三役が決まりましたと申しました。副会長に婦人会の会長が選ばれているということです。

(座 長)

補足説明が、副座長からあるそうでございます。

(副座長)

婦人会ではなくて、女性の立場でですね、ご意見させていただこうと思っていたところです。今、5校区から設立準備委員会に向けて委員の選定をされている、されたところもあるということですけれども、この中で、構成の方でここもそうですけれども、ほとんどが男性なんですね。ここに出席しているのは、私も含めて女性は二人じゃないかと思っているんです。やはり、今の時代ですね、男女平等参画社会、もう少しですね、女性の視点でこのまちづくり、地域づくりは、女性の意見を地域づくりに活かしていただくような構成団体、設立準備委員会の構成を、やり方をしていただきたらと感じたところです。女性の立場で、金剛校区は女性が1名と言われました。民生委員でひょっとしたら女性も入っておられるかもしれません。今、ほとんど市政協力員の方たちも男性の方たちでございます。各校区いらっしゃるかもしれませんけれど、ほとんどが、男性が多数だと思います。その中で是非ですね、女性の視点でもう少しこの住民自治の中に女性を入れていただいでですね、意見を反映していただければと思っています。

もう一点はですね、今5校区の委員の数が出されました。その5校区におかれましてはですね、住民数というのが大小あると思うんですけれども、委員の数もですね、それぞれにあるなと思いながら、小さいところでもたくさんの委員さんの意見を反映させるような設立の仕方をされてとかありましたので、委員数におきまして、各校区におきましては決まっていらないんですか

(座 長)

そうです。

(副座長)

ちょっとそこら辺を感じましたので、是非女性の立場で女性の委員を設立準備委員会の中に入れていただきますようお願い申し上げます。

(座 長)

はい、東陽校区長。

(委 員)

東陽校区の場合をお話したいと思います。設立準備委員会の委員は 22 名で構成しておりますが、その中で、女性の方が婦人会から女性、それから身体障害者福祉協議会から女性を選出されています。そういう団体からですね、男性と希望して選考したわけではなくて、その中で選考して出ております。それと PTA 連絡協議会から女性が出ております。それと公募で 3 名応募されましたが、3 名のうち 2 名は女性です。東陽校区の概況です。

(座 長)

はい、ありがとうございました。他になにかございませんか。

はい、男女共同参画社会づくりネットワーク会長お願いします。

(委 員)

今、女性の登用の問題で発言しようか迷っておりましたが、副座長がおっしゃられたんでいいかなと思うんですが、委員を選定するときにリーダーシップを取る方がですね、女性を何割入れるかという意味を持っていただかないと、現場を動かしていくときに、どうしても女性の視点というのがなくなってくると思います。

事務局、行政もですね、お見受けしたところ男性ばかりなので、どうしても男性主導でですね、物事が進められていく。行政が提案する、そのことに対して、各校区で話し合いが進められていくので、どこか何かもれているというのがあるんじゃないかなという懸念がありますので、積極的に女性が、実際それぞれの校区で女性があがってきにくいという状況があるかもしれませんけど、どんどん引っ張っていく方がですね、意識的に強い意志を持って引っ張り出していただけたらなと思っています。

(座 長)

はい、ありがとうございました。では、事務局からお願いします。

(事務局)

只今の、委員のご意見ですけれども、事務局といたしましても準備委員会を立ち上げていただく際にですね、できましたら女性の方、若い世代の方を構成のメンバーに入れていただけたらとお願いをしているところでございます。

(座 長)

はい、ありがとうございました。先ほど私も冒頭に申し上げたんですけれども、地域にあった取り組みと。これが基本ですから。それでたまたま設立準備委員会の

構成が、どの団体を使うか、どこまで線引きするか、それはあくまでも各校区の自由と。自由度の高い、これがまさしく最初からのスタートと、意識付けておるところだと思んですが、皆さんどうですか。

たまたま選定したら女性がいなかった、ということで、意識的に女性をはずしたわけでもない。そういうのは、皆さんの認識のとおりだと思います。

はい、代陽校区長。

(委員)

現実的にはですね、そう簡単にはいかないと思うんですけど。しかし、住民自治まちづくりの基本というのは、みんな考え、みんなやっていこうというのが基本でございます。そういう意味で、多様な人材を起用していくということが大事だと考えております。ただ、理想的な話をしておりますけれど、私の校区でしたら既に設立準備委員会の構成が決まっておりますので、これがいずれか総社協にかかりまして、再度これはおかしいという段階が出てきましたらそこで修正をし、そして皆さんの意見を出して、微調整をしていかなければならない。決まったから最後までこのままでいくのではなく、まだ、住民自治の初期の初期ですから、大きな展望の中で強い夢を持ってですね、展開して行かなければならないのですから。そういう意味で、どのような構成でいくかという、再度、一年、二年でもかけて段々と修正して、理想的な構成を作っていくのが大事だと思っております。

(座長)

はい、ありがとうございます。おっしゃるとおり最初から固定化すると、そういうことじゃございません。

他にはございませんか。

はい、高田校区長。

(委員)

金剛校区では名称を検討しているということですが、この名称は統一してないんですかね。例えば、八代市金剛地区自治会とか。そういう基本的な名称は統一してないんですか。なんでもいいんですね。

それが一点と、先ほど女性を入れてくださいということですが、それは大変歓迎なんですけれど、なかなか、はずすような余裕はないんです、校区には。入ってもらえるなら大歓迎しますけれど、選考する時点からはずすような余裕はございません。それと課長が先ほど申されました、若い人とか女性とかですね、それはわかりますけれど。校区でいいますと、消防団とか体協だけなんです、若い人がいるのは。消防団とか体協は昼間会議しても出られません。仕事していますので。それが夜になりますと、高齢者とか老人会とかいらっしゃいますけれど、もう夜はしませんと。交通安全とかですね。夜は危ないから出席できないから、昼にしてくれないかという要望はあります。なかなか会議をするのさえ、時間を設定するのが難しいということで、意図的にはずすということはないということです。

(座長)

はい、事務局いいですか、名称は。

(事務局)

名称につきましては、今後行政内部で設置要綱を作りますので、行政内部での名称は、地域協議会という名称で統一をさせていただきます。ただ、校区での名称は馴染みのある名称を考えていただいて、例えば代陽校区では、代陽〇〇活性化協議会とか、そういった名称にさせていただいても構いません。ただ、要綱上については代陽地域協議会という名称にさせていただくことになります。

(座 長)

頭のいわゆる冠と申しますかね、それはどうでもいいと。しかし、最後の地域協議会、これは必ずつくと、そういうことですね。

(事務局)

地域協議会というのは、行政内部の名称の言い方であって、例えば金剛では金剛活性化協議会という名称にさせていただいても構いません。

(座 長)

協議会だけがつくのか。

(事務局)

いえ、協議会がつかなくても結構です。愛称を使っただいて結構だということです。行政内部では地域協議会という名称で統一をさせて、使わせていただくということです。

(委 員)

今おっしゃったように、愛称ということで校区の中ではこういう呼び方をすると。例えば老人会さんですね。老人会は町内で、自分たちで、長寿会とかつけていますね。そういった意味での、校区の皆さんに分かり易い愛称だったらいいと、そういう形ではご理解いただけると。もちろん地域協議会はきちんとありますから。

(事務局)

はい、そのような認識で結構です。

(座 長)

他にはございませんか。

高田校区長がおっしゃったことを改めて皆さんにも申し上げておきます。

おっしゃったように、女性をはずす余裕はないと。そういうことです。これは共通認識ですね。

はい、千丁校区長。

(委 員)

ただ今の、先行モデル地域の皆さんの発表とともに、ちょっと気づきましたことを申し上げます。

まず、委員数が20名から20名以上、多いところで34名ですか、会議が大変だろうと、やさしいことではありませんけれども、千丁校区として、各種委員は現時点で11名です。そして、その中で女性が6名、男性が5名、計11名。そして私の地区は地域づくり、まちづくりの委員というのは女性が中核とならないとあかんと。ということで、会長も女性がしております。以上です。

(座 長)

ありがとうございます。早く言ってもらえば良かったです。そういう意見も出ま

して、決して女性をはずして準備会を立ち上げたわけでもないということは、くれぐれもご理解を賜っておきます。

そこで次に進んでよろしいでしょうか。それでは次に進めさせていただきます。

議題2項目の「先行地域以外における校区住民説明会の開催について」事務局のほうから説明をお願いします。

(事務局)

それでは、議題2の「先行地域以外における校区住民説明会の開催について」ご説明をさせていただきます。

本年度におけます住民説明会となりますので、資料—5、こちらをご覧くださいと思います。

新たな住民自治組織の設置につきましては、今年の3月に策定しました行動計画に基づきまして、全地区設置を平成27年の4月までを目標としています。それまでの間に、適宜、準備の整ったところから、設置していくということになります。

そこで、今年度も第2期目の先行地域の指定に向けまして、今年の3月に指定をさせていただきました5地域以外の校区において、住民説明会を実施していきたいと考えています。

ただし、今回は5地域以外を除いて、住民説明会をすべて実施をするということではなくて、必要に応じて実施をしてみたいと考えています。

要は、例えば次年度、平成24年度に「設立準備委員会の設置を考えている。」、あるいは、「もう少し時間をかけたいけども、来たる設置に向けて、勉強会を継続して行いたい。」という校区において、住民説明会を実施させていただくということでございます。

ですので、もう少し様子を見てみたいとか、あるいは、条件が整っていないなど、各校区において、環境が違うと思いますので、無理に説明会を実施しなくて、柔軟に事務局としては対応していきたいということでございます。

資料に書いておりますとおり、説明会につきましては、来月の8月15日から10月31日までの期間での開催を予定しておりますので、調整を宜しく願いしたいと考えているところです。

つぎの資料にFAX送信票を付けさせていただいております。こちらのほうに希望される日程を、第一、第二希望まで記載をしていただいて、8月5日までに回答を、できればFAXでの回答をお願いしたいと思っております。

今年度の説明会の開催を見送るという地域におかれましては、FAXの送信は必要ないんですけれども、一応、締切日までにFAXの回答がない場合は、電話での確認をさせていただきたいと思いますので、その点につきましては、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。説明は以上で終わります。

(座長)

はい、ただ今の説明について何かご質問はありませんでしょうか。

(委 員)

説明時間はどのくらいを考えておられますか。

(事務局)

昨年度の住民説明会では、だいたい1時間半から2時間くらい開催させていただいております。ですので、今年度の説明も1時間半を基本的に予定をいたしております。

(座 長)

他にはございませんでしょうか。なければ次に進ませていただいてよろしいでしょうか。

それでは議題の3項目、その他について事務局お願いします。

(事務局)

議題のその他でございますけれど、ご報告、ご連絡でございます。

今度の8月の広報やつしろに、今回5地域が設立準備委員会を設置されたという記事を掲載させていただいておりますので、皆さんご一読いただきますようお願いいたします。また、今後も設立準備委員会の進捗状況につきましては、広報誌、また、ホームページなどを活用いたしまして、住民の皆様にも周知いたしたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

あと一点は次回開催になります。

今の件についてご質問があれば受けたいと思います。

(座 長)

はい、お願いします、昭和校区長。

(委 員)

私も次回はいつ頃になるんだろうかと思っていたんですが、5校区以外は15日から始まる予定ですね、説明会が。5校区のところはだいたい8月中に次のステップに進まれるようですが、そこらあたりの結果を聞かせてもらいながら、説明会に私たちのほうは入れば大分楽かなという感じがするんです。今発表されている資料より進んでいるはずですから。そこらあたりの結果を聞きながら、自分たちの校区はどちらを基準にして行こうかなと。そう感じております。

(事務局)

次回開催は、資料—3に想定して、12月に団体連絡会議を開催する予定にしております。議会の関係もありますので、恐らく11月末若しくは12月初めに団体連絡会議を開催したいと考えております。先ほどお話がありましたように、まずは住民説明会を開催させていただいて、来年度の予算とか人事の関係もございしますので、この期間での住民説明会を、是非開催をさせていただきたいと思っております。



次の11月末若しくは12月初めの団体連絡会議の中で、それぞれの地域の進捗状況を本日と同じような形でご報告をさせていただきます。その報告を受けた内容を各校区に持ち帰っていただいて、またそれを持ち寄って、次の先行地域を受けるか受けないかを発表していただく、というような日程を予定しています。

ですので、次回の団体連絡会議の内容を参考にさせていただきたいと考えております。

各校区の住民説明会の中でも、各地域こういった協議をしていますといったことを、ご報告をしながら進めていきたいと考えております。

(座長)

二見校区長。

(委員)

私から2点ほどお尋ねなりしたいと思っております。

第1点、この地域協議会のメンバーについて、私のところは非常に多いように感じますが、実は、この予定のとおりに行かないんですね。その他に何回となく寄って打ち合わせをするんです。そのときに、お茶代くらいは欲しいんですよ。さっき東陽校区長が言っておられました、お金がなにもない。お金がないのに10人も15人も集めて、何回となく協議をしていくんですが、そのときお茶代くらいはなんとかならんのかな。聞いたら、設立準備委員会のときはないということだったから、実はそのときのお茶代くらいは欲しいんですが、検討していただきたいというのが1つです。

もう1つは、先ほどから女性の問題が出ましたが、副座長ご存知のとおり、二見には婦人会がありません。ないけれども、実動をする段階では女性ばかりです。実際今、活性化協議会で設立をしました「しよい」という地産地消の販売店を作っているんですが、そこはですね、40数名の皆さんが交代でいるんですが、女性ばかりです。毎日切れ間なく販売を担当していらっしゃる。だから、実際にやる時はですね、女性の皆さんが中心になっています。例えば体協にしても、体協の婦人部、ものすごく働くんです。昼飯を作ったり、全部自分でやります。だから実動の段階では、奥さん方をお願いをしてやってもらっているのが現状です。ただ、設立準備会の中にはですね、男性が非常に多いです。ただ、積極的な人がいらっしゃいますんで、数名は入れておりますけれど、実動に移ってからは女性が多いんじゃないだろうかなという気がします。

(事務局)

お答えをいたします。東陽校区長から、お茶も出さんでおってと言われておりますので、予算がわずかですが付いておりますので、それを全部出して、お茶代、缶ジュース程度ですが、用意したいと考えております。当面の暑い日のお茶だけは確保できそうだと思いますところでは。

こちらで用意して、各校区の公民館であるとか、支所のほうにおいて置きたいと思えます。

(座 長)

よろしく願います。最初から住民に負担をかけると、そうじゃなかったような気がしたんだけどな。

それでは他にございませんか。はい、東陽校区長。

(委 員)

1点です。私、なんの会議でも言っているんですが、この会議の委員に任命されております。会議には出席するのが当たり前ですが、なにか事情がない限り。それで、1回1回、出席、欠席の連絡を取っていますが、欠席の場合だけ連絡を取るのはいかんですか。

(事務局)

今、出欠の方は FAX でですね、全ての委員さん方に出欠の回答を頂くようにしております。簡素化するためにも欠席される場合だけ連絡していただくように、今後から改めさせていただきますが、それでよろしいでしょうか。

(座 長)

皆さんにお伺いします。それでよろしいでしょうか。

はい、皆さんの賛同を得ました。今度からは欠席の場合のみ、ご連絡をしてください。

それでは時間もおしておりますので、これで今日の議題は終了となりました。

最後になりますが、事務局説明からありましたとおり、是非、来年度の指定を目指されて、これからも住民自治によるまちづくりについて、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

それではこれもちまして、第10回住民自治推進団体連絡会議を終わらせていただきます。大変ありがとうございました。